



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : [kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp](mailto:kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp)

目次

研修お申込みありがとうございます！・・・・・・・・・・・・・ 1  
平成29年度長野県総合教育センター研修のポイント・・・ 2  
校内研修支援（教職員対象の学校支援事業）のご案内・・・ 2  
学力を高める授業のポイント（特別活動編）・・・・・・・・・・ 3

研修お申込みありがとうございます！

2017  
平成29年度 長野県総合教育センター  
研修講座案内  
磨かん共に  
〒399-0711 長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4  
電話 0263-53-8800 (代表)  
【総務部】 53-8800 【企画開発部】 53-8802  
【資料教育部】 53-8803 【教職教育部】 53-8804  
【情報・産業教育部】 53-8806 53-8807  
【生涯指導・特別支援教育部】 53-8833 53-8805  
FAX 0263-51-1290  
ホームページアドレス <http://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp/>  
メールアドレス [webmaster@edu-ctr.pref.nagano.jp](mailto:webmaster@edu-ctr.pref.nagano.jp)

本年度も、多数のお申込み  
ありがとうございます。

受講の決定については、  
**5月25日(木)以降**にお知らせ  
する「学校別受講決定通知書」  
でご確認ください。

追加募集する研修講座につ  
いては、「学校別受講決定通  
知書」とともに学校にお知らせ  
するほか、当センターのホー  
ムページにも掲載します。

# 平成29年度長野県総合教育センター研修のポイント

## 研修事業

**E.T.C.** Education Timely Change  
「教育をタイムリーにチェンジする」

### 「主体的・対話的で深い学びへつなぐ研修講座」を目指します

- ◆教員の研修講座での深い学びを、子どもの深い学びへつなげます
- ◆教師力・授業力の向上を図り、学校力・学力の向上へつなげます
- ◆演習・実習・少人数協議におけるアウトプットで深い学びへつなげます
- ◆特別支援教育の視点を生かした授業のユニバーサルデザイン化を提案します
- ◆豊富な研修講座群を設定し、喫緊の教育課題に対応します

### カリキュラム・マネジメント研修講座開設

- ◆センター主催講座 11/24 ◆信州大学連携講座 10/2, 5, 6 ◆上越教育大学共催講座 6/8

### 学校のニーズに応える希望研修講座

- ◆学校力・学力の向上を目指す研修講座群の充実
- ◆郷土、信州から学び・伝承する講座に「信州体験マーク」
- ◆参加しやすい土曜講座の開講 (6/24, 11/25)

**信州**

新設講座  
多数開設

土曜  
8講座

### 帰校後のICT活用をサポート

- ◆帰校後のICTの活用につながる講座に「ICT活用マーク」
- ◆すぐに使えるものから、最新の活用まで体験から実感・納得へ

**ICT活用**

### ライフステージに即した教師の深い学びにつながる指定研修

- ◆自らの資質能力の向上に向け、教師が主体的に学ぶ研修
- ◆教員相互の協働性を高め、考えを広げ深める研修

### グローバル時代への対応

- ◆国際理解教育の推進
- ◆関係機関との連携

## 校内研修支援 (教職員対象の学校支援事業) のご案内

センター専門主事が学校に出向き支援いたします。



ミガコ先生

**1年間いつでも受付中**

(1ヶ月前までに申込み)  
日程によってはお受けできない場合があります

**全職員や教科会など学校ニーズに対応**

少人数でも、近隣校との合同でも

**選べる便利なメニュー表**

メニューを参考に校内研修をご計画ください

**研修費・旅費は原則無料**

一部材料費等を実費負担いただく場合があります



#### <研修支援の例>

「主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善に向けて」・「児童生徒理解を進めるために」・「授業のユニバーサルデザイン化を進めるために」・「校内の特別支援教育の充実を目指して」(合理的配慮)・「ネット社会の現状と対応」など

#### <研修支援分野>

教科等教育、生徒指導、特別支援教育、情報教育など

お問い合わせは  
各部または企画調査部へ

# 学力を高める授業のポイント⑤

## 特別活動 編



トモニ先生

楽しく豊かな学級・学校生活をつくったり，学級・学校文化をつくったりするために，特別活動が大切だということはわかるけれど，話し合いを充実させることがなかなか難しく思うように進められないのです…。



つなぐ先生

話し合いを行うための事前指導は、どのようにしていますか？

話し合いの時間では，いつも私が議題を提示するけれど，事前に指導したことはあまりなかったと思います。子どもに立場になってみれば，どうして私が与えた議題について話し合うのか，疑問に思ったかも知れません。



私は，事前に議長と書記，場合によっては班長も集めて，「問題の発見」の時間をとっています。子どもにとって何が問題で，何を解決する必要があるのかを，まず見つけるようにしています。



ミガコ先生



議長や書記を中心として事前指導を行うことは大切ですね。その際，「**問題の発見**」からスタートし，「議題の選定」，「**活動計画の作成**」，「**問題の意識化**」へと高めましょう。そうすることによって，子どもたちは“自分ごと”として話し合うことになるでしょう。

学級会では，学級の諸問題について話し合っ解決する活動を大切にしたいですね。このことにより，望ましい人間関係や社会参画の態度を育てることにつながります。また，**お互いの考えの違いや多様性を越えて，“合意形成をする言語能力”の育成**を図ることができます。その際，きちんと整理された板書も重要な意味をもちます。





話し合いによって問題を解決することが大切だということは理解していますが、“合意形成をする言語能力”の育成…ということは、特別活動も学力の向上に影響するということでしょうか。



その通りです。問題の解決のために話し合っただけで終わるのではなく合意形成によって得られた結果を踏まえ、具体的に活動すること、つまり「アウトプット」することで、実践力も高まります。他の人の意見を聞き、自分の考えをまとめたり発信したりできる力は、どの教科の学習においても重要な基盤ですし、実践力も大切な学力ですね。

なるほど。“事前指導”と“アウトプット”がポイントですね。話し合いの時間について口を挟みがちになっていたけれど、事前指導がしっかりできていると、話し合いの時間は子どもたちをじっくり見守ることができそうです。自分たちで解決できるようにして、学力の向上につなげたいと思います。



特別活動では、よりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てます。学校生活上の諸問題を話し合っただけで解決していく中で、子どもたちは自ら生活習慣を向上させようとしたり、ルールを順守しようとしたりするようになります。それは、自ら学習に取り組む意欲を高め、より学習した内容が身に付いていくことにつながります。

また、よりよい人間関係の深まりによって、間違いや失敗を恐れず安心して学習に取り組めるようにもなります。そうした安心感は、のびのびと自己を表現することにつながり、友だちと教え合ったり切磋琢磨したりして、互いに学び合い高め合っていくような学級の雰囲気醸成していきます。

※OECDによる「生徒の学習到達度調査（PISA2003）」では、数学的リテラシー得点について、学校質問紙・生徒質問紙の結果及び調査問題との関連から、例外なく「学級雰囲気が良好である程、得点が高くなる」、「生徒のモラルが高い程、得点が高くなる」と報告しています。